

2019年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月13日

上場会社名 一正蒲鉾株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 正博
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高島 正樹 (TEL) 025-270-7111
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第1四半期の連結業績(2018年7月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	7,619	1.1	△272	—	△299	—	△266	—
2018年6月期第1四半期	7,534	1.2	△157	—	△94	—	△123	—

(注) 包括利益 2019年6月期第1四半期 △384百万円(—%) 2018年6月期第1四半期 △146百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	△14.41	—
2018年6月期第1四半期	△6.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第1四半期	25,878	10,397	40.2
2018年6月期	24,280	10,911	44.9

(参考) 自己資本 2019年6月期第1四半期 10,397百万円 2018年6月期 10,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2019年6月期	—	—	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,700	3.8	1,100	7.7	1,100	△3.0	600	△0.3	32.46
通期	36,500	4.2	1,200	17.8	1,200	14.1	600	7.6	32.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期1Q	18,590,000株	2018年6月期	18,590,000株
② 期末自己株式数	2019年6月期1Q	110,868株	2018年6月期	110,868株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期1Q	18,479,132株	2018年6月期1Q	18,487,992株

(注) 期末自己株式数には、「資産管理サービス信託銀行（株）（信託E口）」が保有する当社株式（2019年6月期1Q45,800株、2018年6月期45,800株）が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行（株）（信託E口）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2019年6月期1Q45,800株、2018年6月期1Q37,000株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年7月1日～2018年9月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により全体として緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米国を中心とする保護貿易主義の高まりや米中の貿易摩擦など世界経済の先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループでは、中国や欧州など旺盛な需要によるすり身価格の高騰や人手不足による人件費の増加、物流費の上昇など依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、“ICHIMASA 30ビジョン”(30年後の目指す姿)を目指し、2016年7月から2021年6月までの5ヶ年の中期経営計画を策定し、「成長基盤創り」と「お客様が中心」を基本方針とし経営課題に取り組んでおります。

また、地球環境の維持は企業活動の持続的な発展・成長のためには不可欠であり、2015年9月に国連総会で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」の達成を目指し、当社グループもステークホルダーの皆様と協力しながら社会のサステナブルな課題の解決に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高76億19百万円(前年同四半期比85百万円(1.1%)の増加)、営業損失は2億72百万円(前年同四半期は営業損失1億57百万円)、経常損失は2億99百万円(前年同四半期は経常損失94百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億66百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億23百万円)となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、主力商品である「サラダスティック」の姉妹品「サラダスティック 瀬戸内レモン風味」の爽やかな風味が夏場に支持されたこと、稚魚の不漁などを背景に「うなる美味しさ うな次郎」がうなぎの代替品として土用の丑の日を中心にいっそう広まったこと、猛暑のなかでレトルトおでんを冷やす食べ方が広まったことからそれぞれの販売が伸長した一方、家計消費支出の水産練製品の減少傾向が示すように、従来からの定番商品である「竹輪」や「揚物」部門は軟調に推移いたしました。

利益面においては、省人化を中心としてコストダウンを推進しておりますが、世界的な需要の高まりと為替影響によるすり身価格の上昇に加え、賃率上昇に伴う人件費やエネルギーコストの増加などにより前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は65億6百万円(前年同四半期比1億13百万円(1.7%)の減少)、セグメント損失(営業損失)は3億33百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)56百万円)となりました。

② きのこと事業

当セグメントにおきましては、夏場の豪雨や大幅な気温上昇などの天候不順により野菜市場価格は高騰いたしました。こうしたなか、まいたけ価格は消費者の健康指向の高まりのなか、TVメディアにおいてまいたけの機能が取り上げられたことにより堅調に推移いたしました。

生産面におきましては、効率的な生産を強化し安定栽培に努め、販売面におきましては、販売促進を強化したことにより売上高、利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は9億90百万円(前年同四半期比2億4百万円(26.0%)の増加)、セグメント利益(営業利益)は25百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)1億38百万円)となりました。

③ その他

(運送事業・倉庫事業)

運送事業におきましては、既存のお客様との取引拡大により、売上高は前年同四半期を上回ったものの、燃料価格の上昇等もあり、利益は前年同四半期を下回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、新規入庫量が前年実績を下回ったことに伴い、保管在庫量も低調に推移した結果、売上高・利益ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は1億22百万円(前年同四半期比5百万円(4.6%)の減少)、セグメント利益(営業利益)は35百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)41百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は90億86百万円（前連結会計年度末比17億60百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加ならびに需要期に備えた商品及び製品等の棚卸資産の増加によるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は167億92百万円（前連結会計年度末比1億62百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の減価償却の進行によるものであります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は113億16百万円（前連結会計年度末比25億19百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加によるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は41億63百万円（前連結会計年度末比4億7百万円の減少）となりました。これは主に社債ならびに長期借入金の減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払等により103億97百万円（前連結会計年度末比5億13百万円の減少）となり、自己資本比率は、前連結会計年度末の44.9%から40.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2018年8月7日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,222,240	1,323,909
売掛金	3,123,762	4,174,080
商品及び製品	875,245	1,079,609
仕掛品	640,200	877,499
原材料及び貯蔵品	1,377,339	1,510,178
その他	87,326	121,595
貸倒引当金	△660	△856
流動資産合計	7,325,454	9,086,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,231,701	6,066,096
機械装置及び運搬具(純額)	2,931,964	3,019,021
工具、器具及び備品(純額)	153,717	163,974
土地	3,267,083	3,267,083
リース資産(純額)	276,880	267,456
建設仮勘定	41,328	9,424
有形固定資産合計	12,902,674	12,793,055
無形固定資産	359,463	355,191
投資その他の資産		
投資有価証券	2,978,113	2,942,392
その他	739,189	726,756
貸倒引当金	△24,500	△24,500
投資その他の資産合計	3,692,802	3,644,649
固定資産合計	16,954,941	16,792,896
資産合計	24,280,395	25,878,914
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,860,429	2,073,885
短期借入金	3,954,002	6,306,782
未払法人税等	200,911	23,695
賞与引当金	63,873	253,303
未払金及び未払費用	1,650,376	1,518,816
その他	1,067,672	1,140,491
流動負債合計	8,797,265	11,316,974
固定負債		
社債	570,000	347,500
長期借入金	2,935,421	2,829,338
役員退職慰労引当金	27,401	26,645
役員株式給付引当金	46,586	50,888
繰延税金負債	540,417	472,703
その他	451,524	436,864
固定負債合計	4,571,350	4,163,940
負債合計	13,368,616	15,480,914

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	7,738,560	7,342,634
自己株式	△69,008	△69,008
株主資本合計	9,259,552	8,863,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,435,279	1,407,991
為替換算調整勘定	216,947	126,382
その他の包括利益累計額合計	1,652,226	1,534,373
純資産合計	10,911,779	10,397,999
負債純資産合計	24,280,395	25,878,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)
売上高	7,534,354	7,619,585
売上原価	5,842,622	6,004,780
売上総利益	1,691,731	1,614,805
販売費及び一般管理費	1,849,526	1,886,949
営業損失(△)	△157,795	△272,144
営業外収益		
受取利息	699	70
受取配当金	2,237	3,351
受取賃貸料	4,294	3,720
受取手数料	6,579	1,872
売電収入	6,523	5,430
為替差益	58,868	—
雑収入	11,282	6,249
営業外収益合計	90,485	20,693
営業外費用		
支払利息	14,893	11,678
為替差損	—	18,206
持分法による投資損失	9,595	15,324
雑損失	2,746	2,914
営業外費用合計	27,236	48,124
経常損失(△)	△94,545	△299,575
特別損失		
固定資産除却損	120	2,271
特別損失合計	120	2,271
税金等調整前四半期純損失(△)	△94,666	△301,847
法人税、住民税及び事業税	64,953	30,791
法人税等調整額	△35,898	△66,386
法人税等合計	29,055	△35,595
四半期純損失(△)	△123,722	△266,251
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△123,722	△266,251

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)
四半期純損失(△)	△123,722	△266,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,371	△27,288
為替換算調整勘定	13,276	△90,445
持分法適用会社に対する持分相当額	△588	△118
その他の包括利益合計	△22,682	△117,852
四半期包括利益	△146,404	△384,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△146,404	△384,104
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,619,574	786,194	7,405,769	128,585	7,534,354	—	7,534,354
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	605,185	605,185	△605,185	—
計	6,619,574	786,194	7,405,769	733,770	8,139,540	△605,185	7,534,354
セグメント利益又は損失(△)	△56,800	△138,557	△195,357	41,346	△154,010	△3,784	△157,795

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,784千円は、主にセグメント間取引消去であります。
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,506,459	990,438	7,496,898	122,687	7,619,585	—	7,619,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	613,174	613,174	△613,174	—
計	6,506,459	990,438	7,496,898	735,861	8,232,760	△613,174	7,619,585
セグメント利益又は損失(△)	△333,942	25,694	△308,248	35,467	△272,780	636	△272,144

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額636千円は、主にセグメント間取引消去であります。
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。